

速記録

原本番号 昭和年()第 号の
昭和五七年七月二三日

第回公判
口頭弁論

事件番号 昭和五六年(7)第四二一〇号 証

名人今岡清

被告(堀)代理人(松井)

あなたは昭和五二年七月に SFマジンに
編集長代行とあります。昭和五四年三月
に SFマガジンの編集長とありますと前回
証言されました。が、編集長代行
と編集長としてどういう権限の差がある
んですか。

実際には権限の差は全くありません
せん。

形式的本名義だけの問題です。

ええ、そうです。

SFマガジンの編集長としての権限を
どうのは、どうの権限を与えられてお
るんでしょうか。

雑誌に開くのは、SFマガジンの編
集中内容にて任せられてくるとい
う格好です。

あなたがSFマガジンにさせたい事を決め
れば、あなたの権限として実行するから
かうとするわけですね。

ええ、そうです。

それもほんの会議にかけてから、上司の決

蔵をあおぐといふに要はぢやんですか。
SFマガジンの場合にはあります。
そうするとそれ以外のハヤカワ文庫と
かあるいは早川書房における単行本
に關する編集長といふのはほんにいふ
んぢですか。

現在は僕がそれを持ち歩いています。
昭和五四年一〇月から五五年一二月ごろ
までの間、ハヤカワ文庫の担当責任者
といふんぢですか。SFマガジンの編集長
と同じ程度の権限が与えられた方は
とよたるぢですか。

その当時は早川書房は編集第

一課、二課、三課と締集部があり
あります。それらのセクションの一一番
上長にあつた者がその権限を持
つて、その形になります。(たが
ら)。その当時からもう僕がそこの
セクションの上長といつてになりました。
僕がやつたはずです。

一課、二課、三課と言います(たけれども
と)、(と)、(と)に区別されているんですか。
それは厳密なものもないんです
か、一課かミステリー。それから
いわゆるベルズと言うことは言つて
ますか。普通の小説。それから

二課のほうがあなたに問へ。それから

三課からシナクションです。

単行本の出版に関する責任者と、
りは、どうか极く多くありますか。

うちの場合、単行本、文庫、それ
から雑誌といふふうなセクションの
分類はしてません。

単行本に用いて、出したいたいと、出す
とかいうことのいわゆる編集長と言われ
る。今迄説明したと同一の権限を有
す方は、あなたはSFマガジンの編集
長です。ほかにおうまくいっていますか。
あなたが全部兼任しているんですか。

ええ。そりやす。

表
半
所

あなたは單行本ともも文庫本ともも出した
いと思えは出せよ権限を持もつていらん
すか。

單行本、文庫本にては編集会
議に報告するといふ形を取らな
といけずよわけよす。

編集會議というのはとうと権限が
与えられた組織なんよすか。

早川書房の出版についてすべて決
定するといふことよす。

担当者なり。あなたが出したいと思ふも
最終的に編集會議で、うち瞬の社会

情勢なんかホツにまるこもあり得る
わけですね。

ええ、それはありますね。

締集会議で通れば大体出版されると、
いうことがありますか。

大体ではなくて、事故かとい限り
必ず出版されます。

締集会議の目的といふんりますかね、内容
といつのはどうもつか簡単に述べて
下さい。

早川書房で出版される本を決定
するといふことです。

発行部数が定価といつのは多額

集会議で決められるんですか。

いえ、違います。

とくに決められるんですか。

それは名業も含め打合せにて決まります。

それは何という会議ですか。

それは具体的には特に会議の名称としてはありませんけれども。

編集会議が行われる目的というのは、早川として出版するか、いたかの決定するための会議です。

ええ、そうです。

早川に出される文庫本と、單行本は

全部 編集会議にかけられますか。
かけられないのでありますか。

討議もされると、かは別にして、
一応報告はされました。

報告といふのは会議が用がれて。
ええ。

されまして出される本もありますか。

それはうちの編集部長のほうの
権限によるて決定される、こともあります。

編集会議の構成メンバーといふのは
どうう人に由て構成されていくんです
か。

社長、副社長、それから各セクションから大体二名くらいです。

早川で單行本などりの本の出版する場合の、いわゆる出版までのプロセスと、うんこすか、流れ、過程といつては、どうして経緯をもともと出されりが、できることだけ簡単に説明してくれませんか。

作業的着手順りすか。

まず翻訳書の場合には出版権を取得すとかどうかを決定して、出版権を取得した場合にはその

テキストを翻訳者に渡して原稿を記してもらわなければ、それをそのままあわせて印刷所に回して出版するといふ段取りにあります。

それから翻訳書以外の場合には執筆者に原稿を依頼するか、または執筆者の方ほうから持ち込まれた原稿をこちらで採用するかは別にしまして、とにかく原稿がははいそきたところからまた印刷所に入れて出版の作業にはいります。

より前ト編集会議といふものをへて

印刷所に指示されるとわけでもあります。

編集会議の用とするところといふのは、印刷所には、前段階ではなくて、翻訳権の場合は普通の本でいいんです。

普通の本の場合にはまず持ち込まれた原稿にて採用するといふことを編集会議でオーテーをもらわばいいわけ、それからこちらから依頼したものについては、長編の書き下しのような場合には、依頼をもつてして許可をもらうわけ

ですね。それから雑誌に連載されたり、収録されたものについては
その雑誌に収録された時占ひもうすこくに原稿が上かって、そのままけて
すから、その原稿にてて出版の許可をもらうといふ恰好になります。

今問題にありますのは「太陽風文庫」の單行本に関する、編集會議は行われましたか、行われませんでしたか、どちらですか。

それは五二年だったと思ふんすか、

これを報告して了解をもらえていま
す。

そうするに発行部数と定価をいつの
はより時占つて決まりわけですか。

発行部数や定価は出版直前
に決まつています。

とよたが決めるわけですか。

それは最終的には専務が決め
ることになります。

「太陽風文庫」に因る單行本の
発行部数とか定価、これはとよたが
決定しました。

これは最終的には専務が決定しま

した。

専務が決定した結果を書面で堀の
ほうに通知したわけですか。

ええ、そうです。

その前に堀のほうに、定価いくらで何
部発行したいといふようなことを堀晃
の意向を聞くにはありますか。
それについてはありますね。

文庫本に関するところはあなたから細井さんに
変つた、というより、あなたがS.F.マガジン
編集長当時から文庫については細井さ
んが任されていふといふが、責任を持そ
れどやそひと違ふんですか。

ええ、それは違います。

そうするとSFマガジンに關係するようま
文庫に関してもあなたは責任者とし
ていろいろ行動していたんですか。

ええ、そうです。

早川書房より文庫といふもとの状況
といふんをすかね、どう、う作品が當時
出たとか、ほかの出版者から出たやつが
早川から出る、早川から出たのがほか
の会社から出るとか、どう、う状況なんか
をおなたは大体知っているんをすか。

ええ、ほほ。

ほほ知ります。

ええ。

編集會議が行われても出版されなか
たと。こう、うことはあなたゞの会社では
ちひりですか。

僕が見えてる範囲では出版が
中止にちひた例といふのはちひと
思います。

ケラ刷りまで行く。結局早川側の事
情で出さなかたといふことはちひですか。

少しありますよ。

僕が知りうる範囲ではちひと思ひ
ますけれども。

山田正紀というんですか。 ハヤカワ文庫で吉原薬天神」という本を出す予定た。 了りが早川側の事情で出さないかたと、 デラ刷りません。 そういうことがあつた事実を知っていますか。

それはありますね。 確かに。 今

こ質問のところ、 単に早川側の事情でといふふうに言われたんですね。 されは一方的に早川側の事情か。 はずしておられても。 そこまではちとお咎えしてようひつか。

あなたが堀晃と仕事を通じて初めて知り合ったといつは、 前回の証言で

すと、五一年一二月号掲載の「遺跡の声」
の原稿を再び行つたと、さう時間が初め
て仕事で堀晃と知り合つたんだと
こうこうお答えでしたね。

ええ。

三丁の裏から四丁にかけてなんどすければ
も「遺跡の声」といっては五一年一〇月
八日に朝一〇時ごろ早川書房へ直接
堀晃の届けたんをすければとも、さうの
記憶をひき出しますか。

前回の僕の調書をちらり拝見させ
ていただけますか。

昭和五七年五月三一日付証人今岡清の速記録を手す

三丁裏、「あなたが堀さんの原稿に因与したというのは何事ぐらしかうといふふうに
これ見ますと」「僕があれをしたのは
^丘遺跡の声』あなたからたたずみやま
かと思ひますか」とこう答えてりますね。

四丁に来て、「これは担当はSFでジンには
なかたおりですが、原稿を取りに行くよ
うにさう当時の編集長に命ぜられて、そ
れで大阪へ原稿を取るために行なうに見え
ております」と、これが一番最初に堀晃と仕
事に関あしたといふのがだといふことなん
です。『遺跡の声』といふのは五一年一月八
日に朝一〇時ごろ、早川書房に堀が

直接届けた。あなたが東京に来たら
私はすうとううことをが、堀の日記帳の事
實によるとどうなんですか。どういう
記憶はすううですか。

……タイトルについては記憶違ひが
あるかもしれませんか。

筒井康隆さんのあなたには当時担当で、
その人の原稿一冊に東西に出張された
ことと、どうど東京に違えていふといふこと
はちんりですか。

いや、その時には堀さんのお宅へは
お伺いしませんで、それの時で
ちんことはほきりしてます。

次に、單行本を出版したうとうたうたう
うかという話が一番最初にあなたと堀
との間で出たのは、四丁の裏によります
と、五二年一二月ごろの手帳に、短編
集の件で堀に電話を差し上げて、「
といふよ」などメモがあると、さうメモか
う推察するに、このころ單行本の話
が出来んじやあります。うあなたは
証言していますね。
之え。

五二年一二月ごろの電話といふ意味は、
アーサー・C・クラークといふ人の湯ミの
海ハヤカワ文庫、この解説の依頼

を電話で堀晃にすると、そういうことの
メモじやちんひすか、ちうこううの
メモに対応する電話を堀晃は受け
取るといふんすか、それと勘違にして
いるんじやちんひすか。

その可能性はあります。

次に堀の作家としてのアライドがあるんで
関連して聞いておきたいんひすか、七丁の
裏によると、一番最後のほう、非常に
堀晃の原稿が遅いといふことに関連し
て、「迷宮の風」という作品ませんひすか。
それで原稿かやはり遅れまして堀さん
のお宅へ伺ひたと、こういう証言を

あなたはしていますね。

け。

これは五二年七月号の日本人作家持
集号といふ。筒井康隆、かんべむさし
堀晃さんのが作品をうせよといふよ
うじてこの問題。

それは確認のみでないとちがうと思ひ出
せません。

「迷宮の風」の作品は逆に堀晃が遅
れたといふことよりも、五月の連休にあま
たのほうが取りに行きましたよと指定して
それで取りに行き、ついで筒井さんの
所へ行きました。上下左右といふ作品か
そ

「」のを取リに行ひたと。要するに堀晃
が渾れだんであちうたが取リに行ひた
いやなくて、あなたほうどもじろ取リ
に行くという指定をして、筒井さんの
上下左右という作品や堀晃の「迷宮
の風」の作品を取りに行ひたが真相
いやあんてですか。

は、「迷宮の風」の時には僕が開
数電卓の使い方を教えてもらひ、
それで非常に印象に残つてしまふ
ですが、その時には堀さんのお宅へ
伺つてそれの話をした時が夜で、

それから書き始めると、手順になら
っていたよ。それはかなりはっきり
した記憶なんですが、ちと日にちに
つては絶対確実といふふに申
し上げられました。すけれども、
どうも以下では間違いちとと思いま
す。

言いたいのは、堀晃の原稿が遅れたた
めにあなたが東京に行きたといふことであ
はなくて、お忙しくほんと取りに行く日を
指定して行く。ついでに筒井さん
の作品を東京に行き、堀さんに取り
に行かんだらうと。

後に提出する丙第五号証を示す
これに「腹立半分日記」という作品が
筒井康隆さんのありますね。これの五
月三日「上下左右」を書く。夕刻今岡
君が来て「上下左右」の科白の出来た
分だけ写して帰る。これは筒井さん
ほうが逆に原稿が遅れて、その日に間に
合わなくて、五月一日「今岡君」上下
左右の原稿單に来る。一部白。
まま渡す」とちゃんと書いてある。
ええ。

むしろ堀尾の作品が遅れたよりは筒井

さんりが遅れたり（→事）に行ふたとい
うとか真相じやちんをいすか。

たださうの筒井さんからいたたいた原
稿というのは、上下左右というのは

普通の生原稿ではなくて、凸版

原稿なんですが、必ずこの時期にも組
みの時間に入れれば大分間に合

たほうだといふこと。それからやはり

雑誌の原稿の場合特にこの時は
今思ひ出したことですが、増大号で

かまうページ数もありましたんを

雑誌の原稿が一時に全部入稿し
てしまふ場合には、うちの編集

部のキャラパシティもそれから印刷所のキャラパシティのほうも大幅に減ってしまうんじてやはりある程度度さみたれ式には、つくづくよくな編集部のほうには計画を立てながらやそいわけなんですが、その占率を多少やはり堀さんより厚稿からの連体の間たとすると決して理想的にはいたといふ感にはしないんですか。

私が今質問をいろいろしているのは、あなたが堀と初めて仕事を一緒にした時のことだとか、單行本が出来た時の

話題は、割と重要な事実を
人で、それをどの程度あやうにかしつか
り記憶して、いる事実なりかと確認
したいために聞いているんで、何が日記
帳とか、そういうものをつける習慣は
あなたにはありますか。

そういうものの全くありません。

甲 第一号証を示す

この内容証明郵便ね。前略去る二月
一七日夜 貴兄より電話をいたたき。
太陽風文庫を今月中に文庫とし
て発行する通知を受けましたと
二月一七日の夜に初めて堀尾は早川書

房として「太陽風文占」の文庫を
発行するという連絡を受けたわけ
ませんよ。さう前に連絡したことを
はありますね。

ええ、あります。

「太陽風文占」を文庫として発行する
という、さうの決定を早川書房として
いたのはどうですか。

発行するところ 자체はもうさう前
年に堀さんのおとお詫び決まつ
ている事実です。

今月中に文庫として発行するといふ通
知をしたわけよ。

之元。

表

半

所

それを決定しなりは。

それは二月一六日か一七日の昼間か
とにかくそれに割り近い時期です。
それはどういう組織で決定したんです
か。編集会議を開いて決定したんです
か。

編集会議のメンバーを含んだ会
議です。

それはどうですか。一六日ですか。一七日
ですか。

一七日の電話の前でそれほど遠く
まことにどうといふのはすきりして

いらっしゃれとも。

一五日か一六日か一七日からです。

ええ、ちよとそこらがメモ見てみま
せん。

されは別に締集会議といふ名目ではな
いわけですか。文庫本を発行するかと
かり会議です。

うちの場合、文庫本を発行する
ための……。

今月中に発行すると、「太陽風文庫」に
関する問題として用いていらっしゃいます。

「太陽風文庫」をこの時期に発行
するという、いきさつのことですか。

要するに二月一七日に堀晃は初めて電話するにあたっては早川書房としては今月中に発行すること決定したわけにはじめに会社としてのこの決定したのはどういう組織といふんですか、社長が決定したんですか、それとも会議で決定したんですか、あなたが決定したんですか。

会議で決定したんです。

何会議ですか。

これはさう前から堀さんか徳間書店のほうから、太陽風文庫にも

出したいといふお詫びあります。
それで具体的に徳間書店のほう
からロイヤリティを支払うとかいふ
詫びあります。

何の会議で決まつたかと聞いたら対応
をきちんと答えてほしんります。だから
文庫本の編集会議で決つたとか、
要するに会議で決まつた、といううえ
シバーの会議、どうり種類を聞け
いります。

ですからそれは「太陽風文庫」
につけた会議です。

特別編集会議といわなければなりません。

ますね。

もちろん締集人会議のメンバーは
全部合意しております。

どうも方からそろい出席しましたが。

ですから先ほど申し上げた締集
会議のメンバーに、あるいは徳間書
店との対応にあたったメンバー、
大体そんなふうだっただと思いま
す。

あなたも出席しました。

ええ、僕も出席しています。

どうも方法でソク発行するとか、
今日はその日に決まります。

じうじう方法でいうのは具体的には。

今現在早川書房は写真縮小版とい
うのがあります。要するに元の單行本を
写真に撮り小さくしただけでしょう。
そろふらふらにするのが、あるいはちゃんと
この際きれいに訂正してやるのかどうか、
いろいろあるでしょう。
ええ。

写真縮小版で出すんだといふのはどう
会合で決したんですか。

ええ、そうちです。
どうして写真縮小版で出すと決めた

人ひですか。

それは徳間書店のほうで出版され
三月何日ひですか。とにかく非常に
迫りそろそろいよいよだからです。

急いたわけ。

ええ、急いたわけひます。

その時に部数何部とか、単価いく
とか、こうこうのはそこで決したんひすか。
そこまでには話してちがんひすか。

それはあとから原価計算上出す

問題ひすから。
出でて通知すと。

ええ。

二月一七日、あなたが会社へ、あなたに
電話をもらそ。堀晃が甲一号証で
あわててこういうことは理解であります
と、まあどうかといふと不本意だと
いうような内容の書面が行ないます
ね。

は。

甲 第二号証を示す

これは二月二六日付でやはり科学考証
上り不備を直したい個所など訂正
加筆の必要な所は相当あり。校正
まで発行されることは誠に不本意
ながらやめてくれと。こういふ通知があ

りまへたね。

ええ。

「太陽風文占」に周々には相当個所訂正が必要となる所と、さうします訂正してまで出されると欠陥の本がたくなりになりますから、さういうことをいろいろ理由にしながら堀晃としては出ては困るというふうに抗議文を出していくわけね。

ええ。

それに対するあなたのほうの会社でそれもいから出すといふことに決めてたのはどういう理由なんですか。

ます。うち訂正個所については先に
堀さんのおほうから訂正の個所を
いたたいてへた分がありますんで、それ
がほんたといふふうに解釈します
た。

何個所訂正個所がありますて、何個所との
ように直せばいいのかといふことを堀晃
に確認するより、打診したことをがあ
ります。

それはやめておきません。

丙第二号証を手す

文庫本に開する「太陽風文占」を出す
とすれば、單行本の「太陽風文占」に

関しましては三九個所 堀晃としては直したい所があつわけ。そのうち六個所だけ丸めてしてしま所があるんだけれども、早川書房の写真縮小版といふのは直しまあわけぢやね。この六個所直されたのは誰が決めて直されたんぢやすか。

これは堀さんのはうから二年前に教えていたたいていた所を訂正したわけです。

ソラこうとう、うふうに教えていたんですか。

これは時期はけきりしませんが、

もう單行本の「太陽風文占」が
出たしはらくしてからじやないかと
思ひます。

そうするとそれだけですべてあるとは
限らず、むしろ沢山あるかもし
れす。まことにや科学的にS
F作家ともあろう者がこんな重大なミ
スをと指摘されるようなものも出され
ては困るものもあり得る。そう
いふとから、あなたのほうで、六個所
ここを直していいんぢですかといふ、ほかにも
何個所かあたら教えて下さいねとか、
そうることは全然聞かなくてやううと

したのはどういうとかうですか。

別に理由をひこすか。

もし文庫本で出すとすれば、やつぱり
装丁とか解説とか、いろいろあります
ね。今のは校正の問題ですか、これ
をどうしたらいいかとか、どういうことを
堀晃に聞いたりとか、確かめたりとか、
そういうことはしまったか、しませんか。
しません。

普通やつは文庫の場合解説が
変わると、時代によつてまた解説の

仕方も変るといふこともあらへしよ。

させしながたんへすか。

まあそれは非常に緊急の出版
たといふこと。

やむを得ないじ。

ええ、やむを得ないじだと。

要するに徳間のほうを出すんへ
と合せて出したいをいふことからある

程度は急いだ事情から堀尾の了解
あり、内容証明など考慮したりは
できず、というふうに今社へ考えたら
ね。

ええ。

もうもうもうとは全く言ふ。

ええ。

一月二八日に小松左京五〇才を祝う会
といつりがありたね。

けい。

二月五日、日本SF大賞受賞バーティ
といつりがありましたね。

ええ。

うち会場で堀晃と顔を合わせた

(よ)う。

ええ。

この時に「太陽風文庫」の文庫本に
開する話をしたことはありますか。

それはしません。

一月二八日から二月五日までの間、早川
としては文庫本に用ひては準備已
か検討より、会合をいつのばすそれ
ていたか。

ちよと事実関係の順序からい
けは思ひ出せるんぢすが、ちよと
日にち的にはヨリしちよ、ところ
かあるんぢ。

小松左京の五〇歳祝う会とか、日
本SF大賞受賞パーティーの時に堀
晃に、実は文庫本、うちのこぢよす
よじう話を早川側には別にしなか

たといふことをひすか。

小松さんのがーテイの時にました
うちのほうはより準備をしてない
かたと思ひます。

二月五日の日本S.F大貴の受賞が
一ティア時は。

二月五日の受賞がーテイの時に
はやはりまさかた。

そうするとどうみる二月一五、一六、一七
日前後で会議を開いて、出さにや
いがんといふ結論を出して、一七日に電
話
たれ、こういふことをひすね。
ええ。

甲 第四号証を手す

最高裁判所 九号の一

五六六年三月一二日付の早川と堀と徳
間との調停書なんですが、その書面
を字句り問題たけだといふことを前
回おこしやつたんだけれども、三月一二
日より以前にこうふう案文でとうて
しようとよくな形をいわゆる
たたき台をこうんじます。もういは
て徳間にか までは堀と あらは
小松左京に見せたことはありますか。
電話りやり取りは何回あります
いた。

こうう文章の書面を。

文章は、この時から初めてです。

三月一二日に突然様子をうたわげりよ

そうち手取。

それ、これを見せられた小松左京氏が
一行自ら達法を二重出版といふ個
所、それから二項の出版権妨害の賠
償金としてといふ個所、三番目には
徳山文庫「太陽風文庫」の定価
カナ。印刷部数カナ。三八一セント、
発行の都度より發行月末日に株式会社
早川書房に持参し支払ふといふ
個所、この三個所が了解をもつて

からこんなもんとんでもないといふふふ
して、必ず個所に周るゝ奴をして否定
して、という事実はちひでですか。
いえ、必ず時にこれを否定されて、
うちのほうもいやあ必ず都人にフ
いては。

検討する。

検討するにはなくて、必ず場で
この支払方法にてては銀行振
込ひよるといふふうに。それから
賠償金をしてといふのも必ず場
で引込みたんとはなかつたかと思
いますか。

あまたのほう。

ええ。

小松さんが賠償金をも、違法な二重出版を認めてることは、ひどいと言ふに
入りよう。

ええ。ひずからそれについては……

言ふにか言わぬか。小松さんがまた
ひずれ出るかもしれないから。

その時はもうやリ取り扱は
儀は聞りきないです。

その書面を見せた瞬には小松さんと
早川房側の人と話したひよう。

あなたは桜井専務さんを描いて
やり取り聞いたよかたんこすか。

その細かいやり取りに興味は
小松さんとそれからうちの専務の
二人でやり取りをして。

その場にはあなたはいまかたんこすか。
残りの人間は一メートルくらい離
れた所で。

二人だけで話されたんこすか。

ええ。そりこす。

桜井さんと。

ええ。

違法本二重出版を認めるにはアキ

ち。といふことや。そうちやうやり事、

の場にはあすたは席を外していた
です。

之々。そうちです。一番最終的に

細かい字句の問題でといふふう
な話にちりた時に呼ばれて行
けます。

細かい字句といふのはどうですか。違

法を二重出版といふのか細かい字句

と解釈されるんです。

之々。細かい字句といふことだつて

具体的にどうがといふふうなお話

はありませんでした。

一般的な知識と 五四年一〇月。

「わゆる太陽風文占」の單行本が
出された時期よりも以前、あちこちで
知識をちらりと聞きたいんをすければ
も、この裁判にちよつてからのことば關係
すね。そろそろこうして出版に開け
て堀晃と接觸してしまった時に、契約書
係などいう觀念をあちこち接觸してやう
ひまつたが、それともひまつたけ堀の本
を出してやろうといふ氣持で、人間
關係をやっていまとめたか。契約といふ
認識ありまつたか。

具体的に今あつたかと言われても

やはり僕としては約束した以上
本は発行せねばならぬし、とい
う立場から考えればやつはりあた
といふふうに考えるほかはないと
思ひます。

本の出版に関する契約にはどう、
どうな内容の契約があるかといふこと
をおなたは知りましたか。

……
知らないまゝ知らない。知らないまゝ知
らずともはヨリ言つて下さい。出版に
関する契約にはいろいろな種類があるん
です。そういうとをあちたは五四年

一〇月、單行本出版當時の知識とし

て。

それは何種類か契約書も見て、
まあ（一六）は知りますた。
どう、う契約があると知って、さうしたか、
何種類というのは。

あの当時を確か書籍協会のサン
フーリがありますた。あと文芸家
協会のあれもありました。

どう、うよくな内容か、全く同じです
か。

かりにいきはう書面を見れば
くい違ひ（も）はう書面を見えは

わざわざたね。

ええ。

契約の内容をいつはどんぞ契約
が示されていましたか。何と、何と、
契約といふ契約の種類たね。わざ
ますか。

そこまで知識ない。なければないで
いいです。

さすが當時に聞いて言ひた。一応さす
當時の僕がどういうふうに考へて
いたかといふことを考へてみます。
ちよとよく思い出せません。

あまり自信無いといふ意味。

之々。

出版許諾契約といふ言葉をその当時
多く聞いたことがあります。

文書くらいを僕見たことがありますと思
います。

ところ内容かということもを知ります
か。

出版許諾すと、いふ契約です。
いやあ出版権設定契約といふのを聞い
たこともありますか。

ええ。

ところ違ひがある。

出版権設定契約をいうことをになると
一つの書籍と原稿に一つで一つの
出版社に出版権を設定するとい
う契約だと思いますが。

許諾は。

一つの原稿にて出版を許可する
という契約。

ほかの会社と同じようなことをやつても
いいんじよ。許諾ならば。

仮にどの生の許諾契約といの
かみとすればいいんじよ。

生りといがはとじよ。

生りといと変りすけれども、実

際にそろそろまとくともかま
ちず契約してかまわまいとい
契約でやってしまふのは出版社の
ほうが非常に仕事にようちゅうとい
ふ。出版社のほうの利益とい
うが全く守れなくちゅうと思ふん
です。

それで書面でやり取りするといつのは
きのへんりくい違いかないようにはなり
すますために書面でやりとりんじやな
いの。書面もんかななくて也要するにさし
つかえぢりといふ考え方で仕事をして
いたわけですか。

ええ。うちの場合はそれよりは別にそれで問題が生じたことはなかつたんで。

生じたことがないというのはほんの会社であなたが早川で出したやつを出しても別に問題とは思つて、ないといふことですか。

そう、ナースもありましたけれども、それそれお話をあつて、それなりのナースハイナースですけれども、理由もありましたから。

何種類かさつき契約の種類見たところありますと言つたんですね。

之之。

とうとうくい違ひがあつたひすか。

とうとうくい違ひといふと…。

とうとうふうに違ひがあつたか。何種類

かあるんだから、こうこう契約書には

こうこう内容、こうこう契約書にはこう

こう内容も違ひがあつてしまふ。

たけ違ひの中身全く同じひた

か。

その当時見本やつて文芸家協会
のは單行本たけに限ると、ふう
うにはヨリ内容がうたつてあ
る。それから書籍協会のやつは

あらゆる出版物にてといふふうに書いてあつたように思ひます。

五四年一月、太陽風文庫で発行するまゝ、堀尾に付く、あなたづほのて、これは出版権設定契約だから、独占的なもつたから、ほかでは出せない、契約ひすよと、説明をしたことはあります。

それはありません。

角川ベル社が岩波新書の印税かとのぐらいかどうことは知りおりません。

いえ、知りません。

今のあなたづ奥さん、あなた有名な作家と

聞いてるんですか、とまたですか。

栗本薫です。

五五年一二月下旬ころ、栗本薫さんと
あなた結婚しまったか。

結婚したのは昨年の暮です。

その当時はしてなかつたでしょう。
ええ。

そう、あなたを今、奥さんとの恋愛
ですか。かより知られていたいにや
ぢんすか。作家とか出版社の内
存りは、噂りは。

それは僅は知りません。

被告(徳間書店)代理人(齊藤)

單行本の「太陽風文占」が出版に
関して云々か、ます収録する短編
の内容の決定から始まつて、装丁、
解説、タイトル、もういうふたつに一
つさうの都度時々を異にしきり決め
りたと前回証言された通りだね。
もういふまゝやう方をもつていたわけ
です。ええ。
丙第一号証を手す
これは早川書房が堀晃庵へ送
ものですね。

ええ。どうです。

「下に杆の中には、一と二ついて聞きましたけれども、このことをして著者である堀晃に知らせて、こういう形になりますね。」

ええ。

「下に書いてあることは、早川書房さんには、もう決めてしまつたのか。これは割とそれなりに近いやうか」と思ひますや。

五四年一月一日付で出されて、ますか、大体何日くらい前に、もうものは決めるものなんですか。

一〇月一日付で出てりとすれば、
大体もう一月ぐらゐの間に決まつ
てしろと思ひます。

九月一日から一〇月一日までの間に決めた
んだといふことをいすね。

ええ。

この折の中にも書いてあるこゝに、ついては
著者である堀晃さんは話をしたと
いふことはちがいんとすね。

ええ、そりいすね。

前回の証言で、印税のことを聞かれ
ました。一〇パーセントが当然あります。
堀先生も承知だれたと思ふと、こういふ

話をしてもたけれとも。

ええ。

「太陽風文占」というのは單行本としては初めてたびらんにやまんへすか。
早川書房へ出すのは。

ええ、そりやす。

それまで雑誌の原稿の問題はあつたけれども、單行本の原稿料については
堀さんとしては初めとのケースですね。

ええ、そりやす。

そうするとこの單行本の「太陽風文
占」の出版に關して、書類のやり取り
といづのはこれ一枚いりますか。

ええ。そりやす。

発行日が収録する内容を決めてから
一年以上かかるのは早川書房の事
情からだと、こうおしゃれてますね。
そりやすね。

これは発行日にての契約をしてない
下さい。早川書房としてはどうでも
のほせたんじゃ無いんやすか。この杆の
中で発行予定日と書きてあります
ね。これにてても何も話し合ってない
だといつて、どう占うての契
約かちいいからこういふふに書店のほ
の事情のほせたんほまんです。

たた仮にさう當時の堀さんと早川
書房が具体的にどうして書面で
契約を結ぶとしたら、やはり一年と
半下りとうかわからせんけれど一
も、やはり長期間の猶予といふ
条件でなければ、出版の許可と
いふのは非常下裏りにくかったと
思ひます。

収録する短編を決めてから発行
までの間に、著者の堀晃のほうから
大分長くなくてはならぬ。もうそれは
原稿を返して下さいといふふうに言わ
れることはありますか。

それはありません。

その点では何の話もながたといふことですか。

ええ。

それから丙第一号証を堀尾に送りま
したね。それにに対する返事はながた
んりますね。

ありません。

そこで返事がないので、この内容で堀さ
んは了解したといふふうに解釈して
この通り発行したといふことになるん
です。

いや、これはたたみ通知といふふうに

考えておりますから、今までも
これについて返事があるからと、うふ。
うな考え方で出版の判断をした
ことはありますせんけれども。
しかし、この序の中にあることをつけては、
発行予定日、たゞ、版数、発行数、
定価、印税、どう支払予定日、どう、
重要なことが書いてあるわけですよ。
ええ。

それにつて、これまた、なんの話も行われ
ていなくて、わけないよう、それだけの單
なる通知だけだといふんすか。著者
にしても、されば相当大きな用事だと思

うんうすけれども。うす占うをあなたは

今みたいに解釈をしていたんですね。

又は早川書房が。

……。

それまことにまんう詰合いかたうされていま
いりよう。

たたか太陽風文占の場合には、
これは契約として詰合わなければ
まじりと、それから梅田地下オーディ
セイの時たたか太陽風文占
たたかはそりした記憶がまじん
ひすか、堀さんも勤めながらどう
ことかあって、お子さんが生れたり

といふことは、非常によく經濟的立
問題もあつたので、僕のほうも大体
本一冊を出せば、よくうの顔に
あるからといふふうなことは申し上
げたことはあると思ふんすが。

大体いや困るわけなんすけれどもね、
とにかくそれでは何のための通知を
出したのか。

これはこの額を支払いますといふこ
とを通知してくるわけです。

一方的にこういふ通知を出して、ほかの
ケースの場合にも同じよだやつら
人ですか。早川書房は。

印税がたとえは達う場合とい

のはもちろんありますから、どう、

た、翻訳の印税がハーベントで

す、場合とか、創作の印税が

一。ハーベントでなく、場合には先だ

早川書房のほうから執筆者の

ほうに相談を持ちかけ、それでは

解いたていたらその変更した

印税率をやるということはありま

す。

いやあたとえは印税が一。ハーベントで

き人の場合は事前に話をまとめてやる

ことがあるけれども、印税が一。ハーベント

の通 常の場合には、シルク、ラ形
式でやそりんだといふことなんですね。
ええ。

たどりは発行部数、支払予定期、シルク
もりは早川書房といふ決めて、それを
通知して、その通り支払ふ。それで
終りといふ形をとるわけですね。

ええ。そりです。

私達から見ると、丙一号証の折の中
書いてある事柄については、出版に用
する契約の一端をなすものではあるが
どうふくに思つてそろんりますけれども、
あなたはどう思いますか。

ええ、それはどうだと思ひますね。

そうすると五四年一〇月一日の書面か堀さんによくまでは、この部令については契約はちうがつたと、こうふうに解釈していいんですわ。

ちうどそれがどうふうに解釈できるかといふことはちうど僕には判断しませんけれども。

それはわからず、けれども、とにかくこの析の中に書いてあることは契約の一節をなすといふには考えられぬといふことですね。

ええ、もういやまへてしまふか。

丙第四号証を示す

これは本件で問題にあつてゐる文庫本
「ほり、太陽風文庫」出版に関する
通知書を示すね。

ええ。

この時りこの紙の中に書いてあることに
ついては、堀さんと全く詰合いかずされ
てしまひますね。

は。

この通知に対する堀さんの返事はあり
ませんか。

通知に対する返事といつては直接
にはありませんでした。

さう記憶してゐる。

通知を見て、それが早川書房の太陽風文占の文庫版の出版に見て書面が送られてはきまつたけれども。

甲第三号証を手す

この書面が堀さんから早川書房のほうへ来たたね。

ええ。

これは今丙四号証の通知書に対する返事いやちんこですか。

これは通知書を見てもう一度出したといふことではあると思ふ。

了すけれども、より通知書の
内容についてどういうことにして
はなくて、やはりうちの本の出版
について言及をきてしまふ内容だと
思ふんじます。まあとにかくもいって
幸のめもしれませんけれども、ただ
通知書につけてといふにあまり
強調されるとどうと違ふんじやす
いかないとどう氣もしたわけです。
通知書に対するこれには困りますと
いうふうな内容にやまんしますか。
どう受け取れませんか。

了すからこの通知書のほうでは

結局部数やまんかのことを書いて
あるんどうすか。こちらのほうでは

言ふていろのは……。

裁判長

わからました。要するに証人の「わん
とする」とは、そんなどうかとうか
問題いやなくて、もしも出してほしく
ないといふ返事だからといふ趣旨なん
です。

之え、どうりです。

被告(徳向書店)代理人(青藤)

出版社と著者との出版に関する契
約が仕方につけてなんですが、早川書

房 乙は 大体 今より より 好形 乙 約束
的 好形 乙 变わって いたと 乙 今より 内
一 号 記 乙 内 四 号 記 の より 好形 乙 通知書
類 乙 出し 乙 处理 乙 いたと 乙 こと は
あ か う ま に た け れ と も ほ か の 出 版
社 乙 は ど う ふ う に し て 乙 か 知 乙
一 ま す か。

ほ か の 出 版 社 乙 は や は う う 契 約
書 乙 結 人 乙 う 所 も あ は れ ば 結 人
い ち う 所 も あ は れ ば う ふ う た 考
え て 一 ま す か。

そ う す う と 契 約 書 を 事 乙 变 わ す と
う 出 版 社 も あ は れ ば う こ と を 知 乙 う

かけですね。あなたは。

ええ、ただ僕はあまり一般的な
ことにはちよ、ようと思ひます。

書面で契約を交わすといつのはりくこ
ろから行われてゐるが、あなたは知り
います。

さあちよとどう、たとは。

知ら無い。

具体的にソレから始まつたとい
うふうなことは知りません。

相当以前から書面を交わしてゐると
いうことは知りります。

特殊字例にて出版の契約が

交わされていたといふ話は一応知
てますけれども。

あなた自身は契約書を交わしたこと
があります。

最近にちるまでもあります。

最近にちるまでもあります。ところが
こと。いやあるといふことね。最近は。

あります。

とうふこと。

つまり今回堀之内の問題が発生

します。それからうちとくしては

やはり契約書を結んでいくとい
ふともやういかなければならぬ。

かましれちと、といづる。それから
めくはいます。

早川書房さんへね。

私はなは、あなたが契約書を文
わいたことがありますかと聞いてい
んす。

ええ。そう。
出版契約書ひすか。

裁判長

どちらの立場で。

被告へ徳向書店（代理人へ齊藤）

作者の立場で。

僕が出版契約書を交わしたこと
はありません。

ありますか。

ええ。

後に提出する乙第七号証を示す
これは徳間書店の出版契約書なんですが
されども、この著作者という所には
田沢 章男さんというのはあたたこはない
んですね。

ええ、どうです。

その次に著作権者甲と書いてあります。
今岡清というこれは自分の字ですね。

ええ。そりや。

そりすると昭和五年七月二十四日に

あなたは徳間書店と約定して、書名
銀河系の悪魔スター・バー・バーリアン」という
著作物の出版契約書を交わしていますね。

ええ。

そりやですね。

ええ。

そりするに前回ご証言してありますか。

口頭契約が一般的だといふことは言え
ませんにやりますか。

ソヤ僕はやつぱり一般的だと思

いますか。

文庫本の「太陽風文占」の出版準備につけては先ほど話が出ましたから省略しますけれども、單行本のほうの「太陽風文占」、「重版の話」というのは出来たが、出ませんか。
僕は何とか出るようだ、重版かで
きるよかったです、いうふうには言
つていいぢんこすけれども、やつぱり
ちよと亮上げの占ひをすくいといふ
ふうに申し上げたことはあります。
あなた個人としては重版したいと思つ
ていたけれども、亮上げの関係でできま

ま。

ええ。

それは「うごろの話」なり。

それは時期はほくまりしません。

早川書房で文庫本のほくの太陽

風文占」を出す。出さないといふふう

李時はいかがでしたか。

それは二月の時占です。

そうです。

その時には在庫はほほなく多くい
いました。

しかし文庫本を出すといふ話はあつた
けれども、単行本のほくの重版の話は

どうだ、たゞすか、同時に出すといふ
話だけか、それとももうちらのほうは
詐としてはまだか。

それは「太陽風文庫」がSF大賞
受賞したあと。

前後りござりね、あとも含めまし

て。

受賞する前でしたら、うちの
ほうは「太陽風文庫」は文庫に
する予定にしてから、重版の
とは全く問題外でした。

受賞後は。

受賞後には、重版の問題

といづのは一度は検討に上りたん
です。やはり早川書房から
まず文庫を出そうといふ話を
りました。それに新たに情報
として徳間書店のほうからも文
庫が出てといふ話を聞いたんで、やは
りどちらにしろ重版については
問題外になりました。

甲第四号証を示す

この甲四号証のタイポしたのはりくさん
さんが作成した日。

割と三月一二日に近い日だなと思
います。

これはどなたが起草したものですか。

これはどういふ会議の結果、数字の
都合につけではそれよりの詰合ひの
中から出てきた線をある程度考
えながら決めておけます。

誰かこの文章を作ったのか。あなた
ですか。

この文章……これは誰か作ったかな
……その会議の席には割とあきわ
さやりながら作不んこりすけれど
も。

誰かと協議してから作不たわけます

ええ、そりやす。

とよたとよたひすか。

ひすからそり向題につけは常下
社長以下会社の役員も集まつて
協議してますから。

あなたもそり一員たつんですか。

ええ、そりやす。

そりするそり三月一二日の何日ぐらゝ前
に誰と誰が協議して作つたものですか。
つまりそり会議の場所で書いて
いた人間が誰かといつてますか。
そりそり。厚稿を作つた人。

これは僕が書いたんいやないかと思ひ

ますが。

あなたが書いた。

ええ、かなりの部分。

それは社長以下首脳者と文案を練つて、あなたが一厚稿を書き上げたといふことですね。

ええ。

ソラごろですか。

ソリがとう三月一二日の前の時

前というのはソラソリですか、一日ぐらの前か、二日ぐらの前か。

そりの前後がちよと日にちが。

一週間ぐら前か、一日ぐら前か、と
ですか。

やそんちに離れてりはすはあり
ません。

とくぐらかと聞いているんですよ。早く
答えて下さい。

そろそろから一応小松さ
んのほうからも電話いたたいたりし
て。それがある程度の線が見え
きたところからそり作業始ま
ますから、そろからやはり三日四日
近く車もんじやなくかと思ひます。
三日ぐら前、前に原稿を作りたとい
うんで

すね。三月一二日のね。うの段階で

徳間との間では、こう、内空の話は
していたんですか。それとも徳間との
間ではほとんど白紙の状態でたんに
ですか。小松さんと話をしていたことはある、
りまあたけれども、徳間との関係では
どうだんですか。

直接はほとんどなか、たんですね。
ほとんどまことにたんじょう。
ええ。

あなたが証言だと二月四日に徳間から
人から来て出版させて下さいと、いわゆる
あなたが言葉で言うと、ロイヤリティを

おひますからといふ話があつて、あなた
が拒絶したと、こうかう前回の証言
で、

ええ。

それからもう切れていたわけぢよ。
徳間より向は。

もうあともいらつかいまへたけれど
も。

もうあと来た、ソラごろです。

ちよとメモ見ればすぐにほきりす
るんこすが、二月九日。

中旬です。

中旬ぐらひまだいそげいたんじや…

ちよと一の期間は全くはアモリし
ますんで。

甲四号証の文を作る前ですわ。

ええ、そうです、もちろん。

その時は誰か来てどうふう話をし、あなたとしてはどうふう答へをしたか、簡単に。

二回目に来られた時は前島さん
かいらつしまいました。
それひとんす話をした。

それでやはりロイヤリティでもアモ

問題を解決した、といふことを。

それからやはりSF大賞の選考

委員のほうから話がありて、それで
徳間書店としてもこの本を出さ
ざるを得ないといふ趣旨の、もう
いう話がありました。

それに付いてあなたがほうことはどう、
答えをしましたんですか。

ひずから前回と同じ答えです。
どういふことをひずか、具体的に。承知
できませんといふことをですか。

ええ、もううろす。

もうするとそれだけひずね、徳間との
關係は。

ううあとで小松さんから電話いたた

さて早川書房から小松さんにお会いして、さうあと小松さんから返事があります。たかといふことを徳圓書店のほうに電話で聞きました。それが徳圓書店のほうから、ちうと小松さんとも相談してみますよ」というふうな話をあつて、それでそのみとに小松さんから電話いたしました。

ヒューヒュ電話です。

それはロイヤリティが確か一パーセ

ント上積みたまゝで、徳圓書店

版が出てから半年間に早川書

房版を凍結すれば出版しま
いといふものでした。

その程度ですか。

その時はさうぐるいじやなかつた
ひよかさんとおもひたんだと思
います。

その程度で徳田との關係は終つて
三月一二日が会談の時に初めて徳田
側下の書面を示したわけですね。
ええ、そうです。

その時に小松さんと桜井專祐さんと
詫毛さん、あなたは一〇メートルぐる
離れていたと言ふんだけれども、それ

乙は徳向より内の話合わざあいの時ときはとう
ただいたんいたんりすすか。 そはにいまいまたたか。
いえ、徳向とくこうの方ほうも僕わたくしと同じ場所ばうしょ
にいまいまたたかか。
離れていたんいたんりすすか。

ええ。

そうしたう徳向とくこうのほう乙はここの内容ねんりょう
かわからずわからず、んじやちちんんですすか。
とうとう形かたちで徳向側とくこうにこれを示ししたん
りすすか。

確かくわくららあと書面しょめんをももました。

全員集そつままそそれてとう。

(以上 加藤)

告代理人

この書面を徳同側にも示して

示す

之を今のは必ず

記憶

かはフミリーハガカヒハシヨリ

しておいでいいからよ。

いや徳同側が見えてるよりは同様

あります。

この書面を徳同側

の方が見てて

ひとつの意見を

言つたか、あります

間で示す

か

先生

と

小松さん

か

おしゃれに

だ

とどう中で

登

行の都度

早川書

房

の ほ う に

持 参 す そ せ い う い は

裁

判

所

二 れ は 確 か 德 因 倒 は う か う
言 わ ん く 二 と じ や が か く か う と う
記 憶 つ か く づ て

え い か う あ と は
金 と は 小 松 之 し か 言 く 下 か
は う う う ま で ん か

問 題 に つ け 三 と は 問 題 に つ け に

え え

堀 是 の 違 法 つ 二 重 本 版 約

二 と は ピ う づ か

確 か 二 二 九 判 也 問 題 に つ け に

ひかかってまつた
ええ。
うそするも。前回あれではほほ固まつて
いじと。たて字句の同題で調印しな
かつただけだとあつしやい手にけど。大分
重要な点につけての見解の相違と
うそつか。また合意に達したが
とうそえ。うそからうその早川書房に
持參するとりうのは銀行へ振り
込もうと。かまわぬいと。うそにていふ
よし。出版権妨害のとりう
はこれ削除してかまわぬ
い。

とひうてふりまへにし

所

判

詰か積み上りられて とひうて
とひうてのと 調印を とひうて
とひうてを用い上りあつたら とひ
字句の問題を検討するにかけんは
かげんす。 とひうてに言わん
かげんす。

とひうては 早川書房のとひうては 代表
印を持ててんじんか 調印は

とひうては 僅ほ知りません。

總間のとひうてには 代表印を持て来る
とひうてが連絡するまへに下の方。

先に調印をしていとりますは申し上りてあります。確か申し上りてと

思はずね。

堀

さんにてはどうシテか。

堀

さんのほうには調印をしていん

で

劉二三持て東京まで来てく

が

かとどうふには申し上げて、堀

さん

のほうか行けりいとどうふ

話

かあつて劉二三小松さん

預

りてくがいかとどうふには申

工

げたりちよつと今から小松さんの

折

へ行く余裕もねいとどうふ

事

じんじよか。たゞ償付

小松さんにはすへておまかせ——あります

うつててもいいはずあります

うつぶつがお詫びがありまして

その後、二の戻りについて、わからぬ甲四号証

にて、弁護士同志で詰め合ひます

ことにはつたようですが、その結果は

どううそとにねじしようと、弁護

士同志で詰め合ひます

その結果は、もよつとその辺には

僕よりも今五十歳先生のほう

が、ちわかりんと思ふんびすけれども

二の時にたとえは、口イヤリテうに

ついて三バーベント、うなづきの結果

問題のなかつて話題

なるべくわ

ども、それを下げてほしうとい

とか、それと詰か又まとから来てり

いじによつて記憶してます。

とか、又詰り合ひを続けて

同

じ著作物が三年以内に他の出版

社

から出版されるケースがあり得る

ええ。

うう、

知つてますわ。

ええ。

うう、

から文庫戦争といふ言葉は

知つてますわ。

ええ。

裁

判

所

文庫戦争というのはどうでも言わ
れていたりすか。

フヨリ他社からお版された本を
お互いに自社の文庫の中に入収録
し合うというふうなニュアンスだと思ひ

ます。

収録し合うだけでは何も山がしい

何

山がしくて使わなくて

戦争なんていう表現を使わなくて
いいんじやねいりますか。

で

假想

で

假想

かと言あれても

か

言葉があるといふことは

か

で

で

で

で

適切な言葉なんですか。それが。戦争
と言わにて以上は何か争いかある
から戦争といわれてるんじゃねいりますか
どこにどういう争いがあるか?と言わ
れてるんですか。

つまり:

A社でまだ版1/2は著作物と三年
以内にB社でまだ版2/2まである
ときに文庫に出てる本はそれが
ある場合に文庫戦争といつて言葉
あります。

が文庫戦争といわれる

表

半

所

えんは どうしても 自社で 委託

ておきたい本でも いろんだけ 条件
から 他社に 譲らなければ まつり
まつり ナイスか 非常に ふえて まつり
手配を 指すんだと思りますか。

それでは 三年以内に 譲らなければ

まつり あけび不可

譲らなければ まつり まつり まつり

に 送込まれる まつり まつり

早川さん側の準備書面に あり

ますと 角川書店に 代表さんは

現象 まつり まつり まつり まつり まつり

けれど 角川書店は ベラーチモードで 人

手か

裁判長

二の証人に 同か がりへても いふんじやつりか
といふ 気か 一ますか

告代理人(育篠)

質問を度々ます

乙 第二号証を示す。

これは 単行本三年以内に 他社あり

刊行されり 作家別著作物一覧表

がんこすが その十二ページに 二の一番

下のはうに 著者として 平井和正さん

の欄がありまくら 二の方の著作物

九

13

角川文庫

収録

表

平

四

卷之三

二
二

卷之二

三年以內

九
三
九
九

卷之三

卷之三

卷之二

八

卷之三

一の時
一
七
七
七
七

形
7
角川
文庫
月夜

1757

Y
M
O
U
K
T
R
I
E
B
E
R
E
R

七八

角川文庫

卷之三

刀

五
7
1

刀

٦

7

11

その點につけて知らねいぢやか。

あからざりります。

その次の十三へ一三一番下に著者名
田中光二さんといつて名前があつてゐる。

これも早川書房から早川文庫角川

文庫に収録されてますね。これもみんな

三年以内にあつたから銀の星

とか以下三つにつけて三つも知つてます

わ。

ええ。

これがつづけどうで年か。角川のほう

がつまつて出でたりか。

これは僕が直接お詫しかあつた。

うは 二の黒星の人 てうへと思へる

うか 二人の時は 部数 9回題

で 角川文庫 から 収録してい

うまと 數字的に 折り合ひがつか

でんじ 角川文庫で 収録しても

かまわぬ うつぶね お詫しこ

これは 田中さん 本人と うけ

です。

角川文庫 うは して下さい。

角川文庫 うは うそ

早川書序 うは 仮に 三年以内の

出版物を うそ は 文庫本で うけ

です。

うは うそ して下さい。

うは うそ して下さい。

といふ申し入れがあつた時に、矢付には答えた
といふ。さればいいでも悪いでもない、両
方もとも答えたといふ立場を取つた
んじやつはうすか。

いえ、なんがまことにありますか。
この田中光二さんの異星の人 角川文庫
とは、直接話をしない。

どうすると、当然のことをやります。
そとか、で、いととか、前回あつてお詫言
たよつたときは、かくしてんじますね。
これの時には、つかつて立ちます。

この時に結局、それで立ちますか。

裁

判

所

何か抗議申し入れようか。

いや、それはもう田中さんほんに
かまわないと申し上げたんが、抗議
はしきい負けです。

文庫戦争とは、このようなこと。
接觸なしで、とんとん文庫に出し
じやつり手つかずの指を、
接觸ありあつたしょりも特に

小さい出版社で、まあそれまで
自社でコツコツと出していった本
を文庫を持ってきた出版社から
出版されるという話には、
本と

著者としても一部敷か刷れますから
それで文庫のほうへ移していって
しまうというふうによつて、特に中小
出版社が自社で持つていい
在庫を販売する機会を失う。どう
いうことを見指していふことにと思
ふます。

どうすれど著者と文庫本を出す
本屋さんとの間で詰めしちやつて、最初
にあたり出版社は、りうばんほ
様數とりいきすか、急向に反して
出されてしまふと、どういふことを御
言つていろりうか。

完全なるほ様敷きとううすくあります
つんば様敷いやつうふと思ひりますが。

出版社の意向に反して文庫に
おこざるを得ないときの状況を
指し言つてゐんぢやか。

十二~一シの平井和正さん=人の
著作物の一冊下りけ。狼男だよ
といふのがありうりや。

はい。

最初にリツア書房といつておいた
うちをも。その間に四十川文庫で

出でます。

はい。

二年以内に出でます。

時計にてござり。

これは当時の商集長いや販賣
ビルマのいきつかあつたのが、か
らあります。

ます。

超革命的中学生集団

といふが、あります。

わ

ええ。

これについても朝日ソーラマント

の

日

版社

によつてやつてお

るに

早川

三

年

以

内

文庫

で出でます。

わ

ええ。

三

年

以

内

に

出でます。

わ

ええ。

62

表

判

所

裁判官(大橋)

あづまは前回太陽風文点の單行本
を出版する際に将来は文庫本化
するとして前提とします。

具体的にはあづまは
坂上と同様に著作権を
譲り受けた。

それは僕が坂上に付いたもの

そのうち文庫にすま時の話と云う
ては堀さんには話してそれも
いたといつてか、一方的に受け取
りたといつてか、どちらといふことは
早川書房で出でますからといふ。之は
詰そいつてひいて、その二つの点で
強いて太陽園文庫文庫本化に
立て言つて必要日付りと思つて
立てるに具体的な二とに分けては
詰りがかかると思つては
Y9時頃で太陽園文庫文庫本化
出でとりうる上への約束か
云々

と う か て は こ わ か り か な

リ か か り 僕 の 心 つ も り と 一 七 月

表 半

用

太陽風文点の單行本のはうの
初版が発行一七年くらいたつた

出版す了つもりでひまへんて大体
うちの準備の時期に具体的な

的には話に入了予定で

詳く

的には話入了と云ふよう段階では

本版社からあひだの考へては著者と
出版して契約をした

時に特に何も決めなかつてからは、その
に版下閣可了契約は独立的なるもの
僕はそうちよつてお考へる所か。
著者の側もさのようには理解して頂く
下と云ふ事可か。

之え。

それも具体的に本件の單行本或印
文庫本の詰をする際に詰題は出た
といふことはあり得か。

之えそれもありまし。

独立的な出版下閣可了契約といふ
ことになると遂に会社のほうも必ず

出版しなければならぬ義務はありますか。

それはもう思ひます。

河井の早川書房で本を出す事
なりといふ事を決めるのは、編集會議
の場でどうぞとれますわ。

ええ。

編集會議の場で設にあります
ともありますからね。

設にありますといつてもありますけれど
れども、たゞその場合には、まあこれは
設にありますといつても可い
間違ふなく通るといつてよろしく

どうりで問題もありまし。それと
編集部のほどの責任とそん
として著者の義理や何かでどう
しても出版しなければどうが
条件がある場合には編集会
議でその旨も報告してそれで
出版とりう形に持っていくナースも
あります。

それにせよ早川書房で本をとりう
てまとまり著者に言えるのは編
集会議を終ってからとりうるといふ
うな手が

T= T= 廣格に言うとどうが
T= T= がんじが

実際には運用上の問題で編集

長ラテスの人间が出て来ると言つて

ものについては遂に会社が責任を
持つよりもふうそくはいわゆる三分部

もあります。

著者との間で编集の责任者が本を
出すところ約束をしてあるとして、编集
會議でおこなうことに決まつた場合
には、どうしてよいかと云ふ点が、
必ず義務を負うといつてゐる
から。

之々。

裁判官(川島)

最高裁印 九四〇一

乙六号証を先ほど示され候。單行
本刊行後三年以内に他社より刊行
されたりと本と見ていくつかありと
御証言がありまことに。

之文。

これは証人の経験にて事実でい
うけれども、証人が経験にて
或は知りてゐる限りの文庫本か單行本か登行
されてから、その文庫本か別に会社
別の出版社か、文庫本か出版され
て一番短かに付けるところのくら
いの期間で出されたものか、又は
か

他社のチーズの場合、あまり印象に残らぬ人多すが

証人の経験一概

限りで結構

一年ぐらいいじやないかと思ひます

それよりも短い、極端に言ひは同時

に、ある作家が甲と乙の会社

文庫本を出し、乙の会社

單行本を出すといふ事実が経験

に事実、或は間りに立つかありうすか

それによつて、間りに立つてゐる

ますけれども、よつてそれがどの作家

のどの本か、といつては思ひ出せます

です。

されに近いといつうのは

確か

間隔が短か

之元

か

といふと云ひますか

裁判長

乙 第五号証を示す

これは今まで御覽に

之元 拝見しません。

ところで倉田さんか自分か早川書房

チーズによつて体験して例え上げまし

たわ。これは体験に付けて云ふあります

事か

はい。

表

半

所

二二の横二の三の例は五つには具体的的
的 一 御存知すか。

これはどうも二のか二一につけては
具体的には僕が直接やりとりが
あるから人に比べては
大さく手にどうこう話かといふのは
間りであります。

二 まほほは これは一番最初の

時点では知らなかつては
森林から依頼されて
どうか

で、編集長が、従前から、編集長は、下時點の
代行に付けて時点で、豊田さんのが、
会社に伺つて、今、際には、昔、森さん
が、本が、依頼されて、いた。訴が、お手
で、原稿を、早く上げてもらつて、
SFマガジニに連載を、よろしくは、
と、詫をして、豊田さんは、原稿
が、忙しいから、どうぞ、よろしく
ステッキルを決めて渡しますと、りう
うう詫を、うう時付、うううううううう

1

1

卷

四

古

乙未仲夏
時人子
原稿
大僅促

原稿は少く

結局上り方の手筋。
結局時用刀。

不
革
又
一
之
于
方
九
羊
之
方
一
不

卷之三

3-227 一方的單行本化了

拒否一矢
詔書行迫
不

表題の如き

見持も一度も角弓

1 2 3 4

倉田文書

丁巳書齋題記

違ひとおもひます。

原告代理人（五十嵐）

被告側 さんの質問の中には

山田正紀

さんと、作家の件で

山田正紀

けた。先生とお詫び

山田正紀

という作家の本で、早川書房で出版を

山田正紀

すそで、出版社の段階で

山田正紀

中止になつて事例はありますか

山田正紀

に聞かれると思ひんすりとおもひます。

之を

それにつれて早川さんの事情で、この
版中止にはなんではござ
らずかと

表

半

所

「 」に 同 時 に 出 版 が 中 止 に

ア フ ニ ト ハ 事 実 で け れ ど も 早 川

ア ハ の 事 情 で け い と あ る て 三 言 つ て

ア ハ わ

之 之

ア の 事 情 と い う も 簡 単 に 述 べ て

下 さ い

ア の 時 の 担 当 者 は 私 で す

ア れ も 当 時 の 倉 稿 編 集 長 か ら

ア 同 時 に 話 し が 入 っ て か

ア 当 時 、 非 常 に 問 題 に な っ て い ま

ア 部 落

ア 問 題 と か

ア 差 别 用 語

ア 問 題

ア 非 常 に

ア ブ リ ン の 危 険

があると判斷されることはあります。
それで出版できなかつたところ事情

当時の早川書房の担当者はどうな

ですか。

倉橋ひす。

倉橋さんに聞けば、その時の事情は

わかりますね。

はい。

二番目に出版契約の二とにしても、

聞いてよーにけれども、塙さんのほう

からまず單行本の太陽風文庫に

して、定価はいくらであるか、發行部数

裁判所

はいくらであるか

発行予定期日

1月

1月

にかかるか 印刷は

いくらにかかるか

1月

でありますか 印刷は

いくらにかかるか

1月

具体的的

に発行予定期日

1月

時刻は 印刷は

いくらにかかるか

1月

二のくらいにかかるか

いくらとどうじ

1月

答えてます

いくらとどうじ

1月

抽象的

に発行予定期日

1月

ですか

いくらとどうじ

1月

一番最初は

原稿をまとめて

1月

へんはつまり

覚えているのか

1月

頃の時刻で

印刷料金

1月

動きあわせ

印刷料金

1月

がこの頃

入って

1月

トロ何とかで、3人じやねいかという
話を一記憶がありす。

五十四年の三月です。

五十四年の三月です。

夏頃までには何とかなる。何よりか
五十四年の夏頃までには何とかなる。

之え

正確に何月何日と言わいいにても
発行部数については、場所と人と五十四

年夏頃と云ふ話してゐるんぢやない。

之え

もう聞けます。五十三年六月

之え

表

半

用

えりは三月頃にもう印刷所へ回もてて
りにうで夏頃には出せとり。」
あつてから、塙さんと。夏頃でさる。
「う詰そじて、やうじて、うか。
ええ。
か。
えりはほつたり貰えて、まん。多く分
かりかと思ひます。之もつけねば
電話でしゃべつか。まろくへげてす。
あつては二の塙さんとほんと毎月
ぐらい郵稿ではつきあつて、うう關係。

2) すね
之を 今頃か 連載を 73 時期

登行部教 これば 塙 まへ 個別 か は

開かれども には ありませぬか

これば ありまん

大体何用 ぐる 出 ふ き い て は

著者 に と こ も う 版社 に と こ も

非常に重要 な ど と 思 ひ ん う け れ

金無 まへ

著者 か は

開かれども は

ありまん 言ふたまは

■

=

表

単

行

本は大体三十~四千部くらいか
新人の場合普通と云ふ

これはいつ頃ですか
話は一七二三〇年あると思ひます

これは單行本で太陽風文正

一般的に新人の作家の場合に

單行本化する場合には三~四千部
か

普通であります

之々

これは確かには何度も話しました
ところに何度も話しました

どのくらい。

ですから、それは本当の太陽風

文鳥の直接の関連がなくて話

トトニモビスカラ、ヤドリ一回か

二回じゃなりかと思ひます

ミラウ詫毛トトニモカヌ

之元

太陽風文鳥、そのものについて詫毛

トトニモビスカラ、新人の作家は大体

トトニモビスカラ、お互いに了解してて

た。お互いに言葉も聞く。その程度

トトニモビスカラ、お互いにちがってばかり

その詫毛レフカトトニモカヌ

1

1

裁

判

所

之之
印税の問題がどう行は
るかの場合最初
文庫に

卷之二

卷之三

上製本にしに

卷之三

部數 9

卷之三

問題

お
至
い
に

1
23
刀
7
12
h
23
3

卷之三

丁一
丁二
丁三
丁四

兩言の至上

用着行了。

至上命題

から比べて 価値は 小さか と いふ
事す。

その ほずひす。

登行 部数的 には 一般に 新人は 三四千
用へて 三千と いふ。 これが 考えても どう
話題 には 五千か 七千 二千 三千か
はい。

定価 と いうのは どうぞ か。

定価 とは は 部数と その 時の
かかるに 費用によつて 自動的に

原価 計算で 出して きて しまふん

僕には わからぬ がす。

うそ うそ 堀さん から 聞かれに

裁

判

所

毛とありますか。大本りくらぐういの本に
がよかと。

それもありました。じ

印形税と云うのは。

印税に云つては、當時堀さんと

他人が本をあつた時に時々うる人

何(は)か、一(い)かういくらくうい入(い)

ううはと云う詰(く)を一(い)てあります

ううはからう当(とう)然(ぜん)知(し)つていろと云う

ううは思(おも)ひて

堀、さん(の)仲間で手(て)に単行(たんぎょう)本(ほん)を文庫(ぶんこ)

本(ほん)にしき一个(ひと)トカハ(は)一(い)十三(じゅうさん)本(ほん)を

作家(さきわ)と云うが、非常(ひじょう)に多く(多く)ね

ええ、堀さんか割と遙かであります。

堀さんは近く近しい人達の中ではすくに何用か本を出している人はいふ。

ええ。

改めてあれにて印税十ハーベニトと詰て
しおくたつてヨリリ人達といふ。いふ
詰り一でしは十ハーベニトと自らわが
了しました。どうしてか、ナニに理解していふ

ええ。

ええ。

十八セントとナニは大体の出版界の
ほんどの常識ですか。

之二。これはどうぞ。

えから 堀さんにつなは 早川書房
ううで もう一回 梅田地下オーディオリーム

の本、17年手

之二。

これはいつ頃から準備してお

えから 17年と

太陽風文庫の単行本出可時期と少し
オーバーラッフして3時期あるんすか
完全出し終って改めて又準備

まし終ってからです。

単行本まし終ってから

之二。

梅田地下オーデッセイについて 発行数とか 定価
とか 発行予定日とか 印税とか つらは
出版契約の一 部を つす 事項について
話 いそひあるん ですか。

梅田地下オーデッセイは 文庫 に か
単行本よりも 大分 数が 別れ て
とりうるより 話は いそと 思ひます。
あとは なにと 思ひます。

著者に どつて 発行部数とか 定価

とか 非常に 重要 な こと です。

之々

従つて 一般的には 廉く あります 前に
と思ふし づけられども これにて 塔さん

廿四
九
九
九
九
九
九
九
九
九
九
九

城之久方之言也謂之南風也

改說明可了

毛遂 堪人 補遺 程度乃予定酒

は
れ
ぐ
い
て
初
版
は
向
部
く
う
い

七
三
乙
巳
午
申
酉
子
卯
未
戌
丑
未

人曰：「子雲之賦，漢賦之祖也。」

登行亭定日乙巳仲夏

卷之二

三
四
五
六
七
八
九
十

これは僕のほりは 十分が努力を
しておろべく早く出版されるようには
いたりでありますし 堀さんの方も
僕が故意に遅らせていたりも
ないが あることは思つていいから、別に
問題なかつぶんにと思つます。

こういふことをついて 四回合せがあつたり。

若情言われたとありますか。今まで
太陽風文庫と 梅田地下本屋でうの文庫
本両方おこげました

ええ。

これにつけて 若情言われたとありますか。
全然あります。

つまりありに。どううと。一々 説明

所

する事も聞く。うは。毎月 つまりて ます
が 狂態トコトコから ありに 言う事も聞く
事か。うか。若情シカシカも ねい。向むかい合あわせても ねい
うか。うか。

之二

これは うそで 細井 慎子 証人しめにんは 聞く
事か うりれども 太陽 國文庫トウヨウ 文庫
本化ホンカに ついて あはく 自身じしは うの 向むか
証言シテに あらうか。ほんの うか。
詰ハシマリ うか。林熊トコトコ うか。

之二

それで 登行 予定 もか。一切 は つけて 細井

えと 塙さんか 話してんやう

ええ。

あなた自身は話してから二の点だけ

ええ。

社内にありて 細井さんが 塙さんと話しあつた事で 太陽圖文局の文庫本へ
ついて どうする順序で 進んでいくのか
どうぞ お聞かせ下さい。

ええ。報告受けます。

どうも 進んで下さい。

太陽圖文局の文庫はうちでやる
ことになります。とりう

表

判

所

是れは五十四年の十二月二日之二。

何日シカ。

細井の口ハ

大阪へ行ひ翌日

シテ

何日

大阪へ行ひ九日十二月三十一日

シテ

九時セリ十三日間ハ

大阪の堺さんのか宿へ行ひ

太陽風炎点火にて詣しを間一

素玉一にセリ十三日

文庫化けつけたる承玉取て行か取シ

つかにつけどうさか。
それと了承してしまひた。

了承取てとづきを。十二月二十一日の
日に開いてその後どうしてんじか。

印刷所に入れるために原本と
いふ手が上製本のほどの太陽
風文思のほうを印刷所へ入れ
ための手配を始めました。

先ほどのあはての証言によりますと、

一月三十日には小松さんの五十歳を祝う
会とか二月五日のSF作家大会がハリ
テでとかどうやらどうもよろしく全然

早川書房で文庫本の草彌をし

かにようして答えてはりすけれども

すると今言われてはると違いますね。

つまり写真製版でやつて今在庫

とつけて本のやり方には全然

進んでつかひにくそりと云ふ

という方法で進んでいくが

通常のやり方で進むのはうか
りにんじす。

通常のやり方とさう。

どうすると組んでやっていくやり方です。

どうするとその工程を日時を追って

教えていただけますけれども十二月三十二日

には、その話を聞いたと。

ええ。

で、二の事務作業は、細井さんはやつて
んざか。

はい。

細井さんはどうやつてんざか。いつ頃
何を一ついでか。

十二月三十二日の日にさとうく草本を
手に入れて印刷所に入庫の作業
に取りかかる。しかし、人 ragazzi
暮れで草本がてまでは細井の所に
届かない。遅れて年を越してやつて
どう事情であります。

どう事情であります。

表 半 所

年々 越一七、章本といつうはとうじ

か

あれはたての普通の本です。つまり

太陽風文点の單行本です。

あれをどうしてひんすうか

あれを手に入れてもあれを

誤植を

訂正

たり。あれを

誰か

訂正

ひんすうか

あれは細井がひんすうか

細井さん

自ら原稿のほりの誤植を

訂正いたします。

之え

あれは先ほど

あれが言つて三十九か

新あらうし、六か所直つて三三三で
けれど、それで二千人をか

講稿の訂正を始めたり

之々

その一月二十八日の小松左京さんのお五六十
歳祝賀会の頃は、どんづかれていたりして

そのは具体的にはどこまでも進行した
か聞こえてました。

そのうちも、先ほどのアーティストの証言は

正確に言えは二の、いわゆる幻の文庫
本になつてゐる写真の大陽圖文庫の

文庫本にては、は事はすんでない。

しかし 一般に本、す文庫本につけては

坂さんとの十二月三十二日の約束のあと
細井さんの所でどうまかからぬつりと

ても仕事は進んでとうとうに

理解

ええ、うううう。

甲 第四号証を示す。

乙 和解のもとについて、あわての証言

前回 証言について、せき回証言について

乙か はつきりしないふりでけれども、乙

文首とめぐらしく、うちは早川さんと

小松さんと間で三者会談して

やつにが。いつれにじ。そか。

一之 二二に 三月十二日 書いてあり

手元 三月の十二日 と思ひますか。
手元 = 二才 = お中です。

場所 もか いそいそ あそび まわる まわる 待ち合ひ

二十才 = の 手 = テニラウニシテ 待ち

合ひで。 サ・フアーラム と、 会員
性の タラム カ うそ うそ うそ うそ

手元 稲 動 まわる

生は + 大人 いそいそ 離れて と、
誰と誰か いそよ、 に離れて と、
うそ

手元

まあ えいか 店の中 で ひかに ほと
と 容か いよせん。

小 松 さんと 桜井 さんか うそ

あ つは と 德 国 さん が うそ

ニ ニ ト い て 二 シ ル 一 七 に うそ

フ い ま か 三 九 一 うそ

別れ て く し い や

社員 が 二 人 うそ

うそ

え か 十 人 うそ

うそ

うそ

え か 月 うそ

うそ

て く し か

うそ

え か 稿 うそ

うそ

え か は 朝 うそ

うそ

て く し か

うそ

徳 国 うそ

うそ

え か と うそ

うそ

言 うそ

うそ

し うそ

うそ

桜井専務と小松さんと、これを見て
詫問

いえ。脇にりたケルノハ何モ一ノ
手を

要するに、桜井さんと小松さんがりうば
代表選手みでいは形で詫問一ノアフス
達日待機

之え。
桜井、小松会談の結果
アカシカシタリ又四者か集ま
て詫問合ひよしんすか。
之え。一ノアフス

誰か主にリト一ノアフスか、小松

さへ手か。

之々 え、う

記憶 けいきよ けいこく ほしん けいと = 重

出版 けいしゅ 出版と けいしゅと けいしゅ

販賣 はんめい 販賣金 はんめいきん 印刷物 いんさつもの

三三一セント さんさんいつせんと さんさんいつせんと さんさんいつせん

自己社 じこしゃ 自社 じこしゃ 出版 けいしゅ 四五 しこひ

合 あわせ 合 あわせ 話 はな 話 はな 合 あわせ

子 こ

いや 扱 あつかひ 合 あわせ が あわせ が あわせ いわせ いわせ

行く いふ 時 とき 無 なき 雜 ざつ か まとまつて

いた ように 思 おもふ うん うん

三分 大 分 違 う あつこに 記憶 けいきよ けいこく

の。

ひすから その点は 同題に ついて
ひすが、早川書房のほうが、それには
ひては 譲歩一

小松さんと 桜井さんとの詰めて、桜井
さんか 譲歩一。いろんなうには 清元に
残り うなづか。何と 何を すか。

それで 専門的に 残り うるものか つか
たんひすが、わざと されても 多少 検討
したいところがあるんで とりうる うに
とりうる二と うすか、とりうる うの う
間違えたり、徳間書店のほうの
新井さんのほうから たんひすが

字句の問題

で と う し じ が 字 句

の 同 領 を 先 生 と も う 一 度 相 談

しきれば まうまうと ううううう

裁判長

違法 ま = 重本版契約によつてと

点は 取るなどにまつてんこすか、まう

ひつてんこすか、まうまの出版権妨害

の 賠償金としとつうのは譲りふと
おつしゃつたけれども

これは 確か、その時は 同題に

まうまかつてと思ふんこすか

京古代理人(五十嵐)

二重の出版契約問題にまうまかつて

裁判長

問題

この解決法

あります。

問題

この解決法

あります。

この問題

認識

問題

字句

問題

問題

を抑

問題

問題

に時

問題

問題

に解

問題

問題

を押

問題

問題

に解

問題

問題

を押

問題

問題

違法

と、うのが、認められん。考へ

章告代理人(五十嵐)

あの堆測でしやべてろんじる。

そら堀堤見の呂達法みの

術については記憶

そりけど

乙第六号証を示す

二の乙第六号証はあの自身見

よしむわ。

之を

早川の園地から廻ります早川

書齋で生きて。その後の日かの

出版社で生じたつどいりの
から十三ペーペーしましてあります。

之え。

これは二十九トカヌイと考えていた
行かに徳用側で捨へ忘れにとか
えはアレジテカ

アレヌモのじやアリカと思ふす。

アヌニアヌカスカ担当一作家とか
アヌニアヌカスカ担当時代にはの出版社
からおそれにものとくのうとくのうと
それすか

眉村さんの奇妙な妻。

山田正紀に云ては話を聞いて

小田正紀については全部

三三に本人からそれが、半木

三三については全部知りません。

三三は誰ですか。

担当は

倉橋

長島

本林

アーティザンのいわく思ひます

田中光二はどうです

黒星の人

アーティザンについては

アーティザン

記憶にあります

河野興生

三三はどうです

三三は記憶にあります

小林信彦

「今日はセラシヨンが違うんで

ねい。

ありますん

高井康隆はどうですか

ありますん

豊田有恒

ありますん

平井和正はどうですか

これもすべてありますん

行かの部分に7つには相当者に聞く

えまてありますか相当一に石林

早、奇妙な要

これはねでどううう

事情で承諾を与えてとか

一つずつ

簡単には言つて下さい

眉村早苗

奇妙な事

二十九日は眉村さんからうそ

書りてあります司政官シリースヒル

シリースが来る所かとれ

ついては永久に早川書房以外

がらも版一ノ代り二九

に2月は認めて行いと云ふ

かありて承諾一ノんす

山田正紀の四点これにどうぞ

山田正紀に2月は當時の

小田正紀の経済的事情や

何よりの話あれど時

承諾した。わざと

みがには山田正紀の終済的事情を

考へて承諾した。無理に黙っていや

てはとうやうで持つていつてもううじやない

です。

之々

羊村良二は如何なり。

田中光二

異星の人

圓

は

刷

部

教

の

(回) 旧題で

詰

か

折

り

合

わ

か

ひ

ん

五十一
年八月
日

早川書房

五十二
年一

か

早川文庫

五十三年角川文庫に

表

判

所

で手りと

刷部教か合わねん

田中光二かあがたの承諾をしに角

川で出一三三三三とアリカ

ます

單行本も一時の初初

刷部教か

折り合わねん

アヒル

他社の文庫か

版まで一三

しりい

アリよ

えひも了承を与えて

アリ

お詫し

アリ

えひも了承を与えて

早川書房で「あつす」と言つてゐる
おへにとつちやけじやないんすすむ。
ええ、さういうやけじやありますん。
その事情は今言つてように、單行
本がそもそも少い。ほんほんで文庫
を刷る時によくまでそれとつてゐ
了承いた。

はい。

あのうの範囲内でいいですけれども
あのうほんて承諾を与えます。で
わざわざ出でたとつてのは、極
度の力。
ええ。

ええ。

けかの みづなが 因縁 一 ねいものに ついた
は みて 担当者に 聞く ます けんり
早川書房 全体で 積 薦しありと
言つてゐるに されど 抑しきつて といふ
手本か されど 無視して おこなひた
行為に あります
されば つりと 思つます
逆に これも みづなが ついた
けれど 早川書房 けかの出版社
も それでは 本から 文庫本には
どう本は あります
三年以内に ついては 平井さん
二点で けんりと思つます。

ヨリニ魚はビリニモニ一にか

アガハは缺ラフイ

之々 てて 狼男によにてはリツア

書房の版にて 内容を勝手に

変えられにリツアトラブルガスヒ

リツア詣は一般的にアリマセ

誰か
何を 変えにんリマシカ

これは 平井さんか ビニカの文音ナ

書リテ おんじにんリマシカ リツア書房

版は 内容と 勝手に 変えられ

リツアセリテ 大変 お怒りに がつ

リツア事実か ありマセリ それ

リツアから 早川書房が 収録可

書

表

半

所

許

してよ。

あなたは担当者であります。

結果に付けておるといふ感想

ええ。

ありますか。

あなたが感心

この表全体を見て

あなたが感心

これで全体見て

感じてはあります

版権に

ありますうな形で

やりお版を

ありますうな形で

まあよくおれ

おりやります

りねじる。

版ありますうな形で

お。実際にはよく行く一般的

角川書店が大部分と

結果

す。

これ 全体で何点

実は僅、数えてみる所

何点 一冊二十点、二冊三十点

ます。この表の中でも、版権が全く

問題に

かう たゞ二十二年、初版発行

から 三年以上経過して

全部 はずして考へて

全部

このはずして残りは二十二点

このはずして

は二十二点

あります

表一二〇点、この表は二十二点

るものあります

之元には正確だと思ひます

この

謹

判

所

二二〇
二二三
二二四
二二五
二二六
二二七
二二八
二二九
二二一〇
二二二

二二三
二二四
二二五
二二六
二二七
二二八
二二九
二二一〇
二二二

二二三
二二四
二二五
二二六
二二七
二二八
二二九
二二一〇
二二二

一〇四 点か角川書店

二二三
二二四
二二五
二二六
二二七
二二八
二二九
二二一〇
二二二

二二三
二二四
二二五
二二六
二二七
二二八
二二九
二二一〇
二二二

二二三
二二四
二二五
二二六
二二七
二二八
二二九
二二一〇
二二二

二二三
二二四
二二五
二二六
二二七
二二八
二二九
二二一〇
二二二

二二三
二二四
二二五
二二六
二二七
二二八
二二九
二二一〇
二二二

二二三
二二四
二二五
二二六
二二七
二二八
二二九
二二一〇
二二二

二二三
二二四
二二五
二二六
二二七
二二八
二二九
二二一〇
二二二

一般的
に下
二の表
飞是

T:

一般的
に下
二の表
飞是

T:

アリヤハ 約五十回で二十近くか角川に
集中して見えてい人ですか。

被告代理人(松井)

半村 良作 品に問題ではありますまい
はい。

アリヤハ あなたが知らぬうち
アリヤハ 本を貰ひましたとおもふ
アリヤハ どうぞお手元に持て
アリヤハ 金額を支えましたとおもふ
アリヤハ 金額を支えましたとおもふ

接洽とか どうぞ問題ですが、支えましたとおもふ
あればか 録り方などして早川文庫

であってやつを三年以内に角川で
あればか 録り方などして早川文庫で

裁

判

所

か

今
二
月
一
日

調
べ
て
や
ま
と

何
下
角
川

之
之
之
之

は
あれの所でよーて了りておーん
の
か
（參）
と
そ
う
か
ス
カ
半
村
良
の
場
合
該
当
す
る
じ
や
わ
い
す
か

（）
や
て
た
半
村
良
の
と
は
（）
か
後
も

何
度
か
お
会
い
（）

て
と
之
は
東
漢
要
塞
り
す
か
早
川
文
庫

五
十
三
年
二
月
（）
角
川
文
庫
五
十
二
年
三
月
に

出
て
る
ち
か
わ

之
之

全
然
あ
つ
て
は
口
知
る
い
と
こ
う
す
実
際
は
お
て
る
ん
だ
け
れ
ど
も
あ
つ
て
あ
る
こ
と
も
指
さ
れ
て
る
こ
と
も

来ねし あがに うも 文句 フケる いも
氣づか がた うう うう うと ひは ひいん う

刀。

うれ 何年の版ですか。

下 早川文庫で 惠漠要塞

逆襲

とくしゅう うか えりまか 五十二年

十月 早川 お うまか 五十二年 早川

ええ

よく うけい とくしゅう うまか 要するに

うれ うに 承諾 せきよせき しゆいとか

うれ 同題 か 全然 起こりて、捨

にも 来ねい 一方的に 角川 おも

裁

判

所

て ま つ て り く 二 う い う 二 う い う 人

三 う か

三 う か 三 う か 三 う か 三 う か 三 う か

僕 は 羊 村 さん と お 会 い て お き か

あ つ て 三 う か 三 う か 三 う か 三 う か 三 う か

人 三 う か 三 う か 三 う か 三 う か 三 う か

も う う が 角 川 の ほ う 三 う か 三 う か

も う う が 話 を 闻 い て う か う か う か う か

は 前 任 者 の 頃 三 う か 三 う か 三 う か 三 う か

理 解 一 て う か 三 う か 三 う か 三 う か 三 う か

五 十 二 年 九 月 に 角 川 文 庫 で あ そ と

“ う 時 あ そ ば の 仕 事 の 事 件 の 事 件 の 事 件 困

りよう 惠漢 妻 塞の達

音義

といつ

かおたの氣づいてまへにか

それは 本ソレにてくらう手から
もうろん氣づいて了す

全然 あわてぬ 認識

氣づかぬ所

て 今 うち 本を 調べて

二つ やつて

調べてみれば 三年以内に

おてて

とくても ない = とくとも とうづね

ねづね ねづね

うは ありよ てか

ありよ

全部 三年以内におてる

早川 に

閑

すよそとにつけば 旨 あわて 紅事

を持てやつて了候は 全部 あわて 紅事

乙子

紀元 因内

加子

春

半

所

霞

速

記

加子

藤

惠

子

(以上)

加

村

